

まちの話題

ISA City Topics



交通安全！気をつけて運転してね



子どもの顔写真が入った交通安全のお守りを手渡されたのは、みどり保育園の保護者 140 人です。

お守りの裏には保護者の似顔絵が描かれていて「交通安全に気をつけて運転してね」の呼びかけに、「ハイ！」と良いお返事ができた保護者たち。子どもたちが思いを込めて手づくりしたお守りは、車の中や、家の目立つところに飾られ、“子どものためにも事故は起こさない”と、安全運転への意識づけに、どんな神さまより効果があったようです。

子どもの手本となるように、ていねいな運転を心がけましょう！



鹿児島高専吹奏楽部



7月15日、曾木小学校で鹿児島工業高等専門学校吹奏楽部による演奏会が行なわれました。耳で聴くだけでなく音の波動を身体で感じた児童たちは、生の音楽の迫力にくぎづけでした。

緊張気味の児童たちも、馴染みのあるアニメソングや、フライパンや鍋を使った料理番組のテーマソングなど、コミカルなプログラム内容に笑顔を見せ、演奏会途中では、児童が指揮者にチャレンジしたり、楽器に触れ演奏してみたりと和やかな時間を過ごしました。

「日ごろからの備え・正しい情報の入手・的確で素早い行動」



平成18年の豪雨災害から5年。地域、住民の自発的な防災活動の重要性が広く認識されてきました。災害を完全に防ぐことはできませんが、被害を最小限にとどめるために今年も7月に市内各地で防災訓練が行なわれました。5年前、広範囲で浸水があった曾木校区では避難訓練。先月の豪雨で道路が冠水した羽月地区ではボートによる救助訓練。大口校区では、防災訓練にあわせ原子力発電所についての研修会もありました。その他の地域でも行なわれましたが、平常時から防災について意識することが重要です。自助・共助意識の育成に努めましょう。

伊佐かぼちゃ振興会



6月28日、J A北さつまの伊佐かぼちゃ振興会が開かれました。今回は、旧伊佐家畜市場に県外9青果市場の担当者11人を初めて招き、生産者との意見交換会を行ないました。市場担当者からは、長雨の影響で傷みが目立つなどの厳しい指摘を受けましたが、振興会ははじめ生産者からは「伊佐かぼちゃのブランド化に向け手拔きのない的確な選果作業をしていく」との意気込みが語られました。

トップアスリートによる指導



7月22日、「こどもの体力向上啓発事業」の一環として、水泳教室が市営プールで行なわれました。講師の佐野秀匡さんは、日本トップクラスの水泳選手で、200m・400mの個人メドレーの日本代表としても活躍しています。

市内の小学校4年生25人が参加した教室では、「保護者や仲間感謝し、ライバルとともに成長してきました。」と話され、実技指導ではメドレーの4種目について指導されました。

最後に、メドレーを実際に泳ぎ、子どもたちから歓声があがりました。

“つながる支援”



東日本大震災の被災地である南三陸町に派遣された伊佐市職員が市内の学校で、被災地の状況や支援活動などについて話をしました。

“被災地で何が起きているかを知り、自分たちに何ができるか”を考えてもらおうと各学校が主催し、依頼を受けた職員が各学校を訪問。現地の写真を映しながら「がれきが山となり、家がつぶれ、想像を絶する光景だった。今の自分たちの生活がいかに恵まれているか感謝しよう」と、命、家族、人のつながりの大切さを伝えました。

派遣職員の声は子ども達に届き、成長した彼らが次の支援者となることでしょう。

社会を明るくする運動



伊佐保護区保護司会は、犯罪をなくして社会を明るくするために、毎年7月を強化月間として啓発・周知を図っています。その一環として7月1日、市役所大口庁舎前で「社会を明るくする運動」の出発式が行なわれ、7月16日には、忠元公園多目的広場で、同会による活動として、グラウンドゴルフ大会が開催されました。

市内16チーム80人の参加があり、参加者の明るい笑い声が響いていました。

県代表として全国・九州大会へ出場



大回クラブ

6月19日、全日本9人制バレーボールクラブカップ県予選で優勝。県代表として、8月5日から岡山県で開催の全国大会と、10月8日から福岡県で開催の九州大会へ出場します。



大口軟式野球スポーツ少年団

7月9日、県スポーツ少年団交歓大会で優勝。県代表として、8月5日から長崎県で開催の九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会へ出場します。



大口南軟式野球スポーツ少年団

8月26日、佐賀県で開催の虹の松原カップ九州・山口親善大会へ県代表として出場します。

選手の皆さんの健闘を祈ります。

地域貢献！頼りになる人力と重機



7月8日、㈱富士建設の皆さん15人が、十曾ブルーベリー園入り口からわんぱく広場へ通じる道路の草払いをはじめ、ロードミラーの寄贈・交換を行なってくださいました。

草木が生い茂り、車1台しか通れない状態だったのが、作業後、車がすれ違えるまでに整備されました。

炎天下での作業、ありがとうございました。

九州戯曲賞受賞



伊佐を拠点に活動する「演劇集団 非常口」代表の島田佳代さんが、6月18日に福岡県で行なわれた九州戯曲賞の最終選考で大賞を受賞されました。

今回の戯曲（台本）「四畳半の翹音」は、昨年発生した口蹄疫をヒントに書かれたものです。

演劇集団「非常口」は結成10年を迎え、市内外で活躍中です。



金鉱石寄贈

住友金属鉱山㈱菱刈鉱山から菱刈と大口の市立図書館に、鉱石やパンフレット等の寄贈がありました。

菱刈鉱山は産金量日本一で、鉱石1t当たりの金含有率が、世界にある鉱山の平均値の約10倍と高品位。また、金の含有率は銀の2倍など、いろいろな特徴があります。展示されている実際の金鉱石を見に図書館にぜひお越しください。

ご寄贈ありがとうございました。